

第2学年 組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年11月〇日第〇校時

場 所：2年〇組教室

指導者：担任・養護教諭

1. 題材

「けがをふせぐには、どうしたらよいだろう」

学級活動（2）ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2. 題材について

（1）児童の実態

男子13人、女子9人の合計22人で、明るく活発な児童が多い。事前のアンケートの結果では、「歯や口にけがをしたことがある」と解答した児童は70%。「教室で走ってしまったことがある」と解答した児童は35%。「ポケットに手を入れて歩いている」と解答した児童は15%。好きな遊びのランキングは1位「陣地取り」2位「ドッジボール」3位「〇△□」という結果になった。この結果から「範囲が限られ、接触も多い遊びを好む」という実態が分かった。

（2）題材設定の理由

児童の実態をふまえた結果、今回「歯や口のけがをふせぐには、どうしたらよいか」を考えることで、より楽しく安全な学校生活をおくることが考える機会としたい。また、歯科衛生士と連携を図り、歯や口の具体的なけがの種類やその防止方法を知ることにより、自他の歯と口を大切にすることに対する意識も高めたい。

3. 第1学年及び第2学年の評価規準

観 点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評 価 規 準	日常や災害時の安全確保に関する正しい知識や行動を理解し、訓練等で実行することができている。	自己の生活上の課題に気づき、様々な意見を基に解決方法を実践している。	防犯や交通安全等、自分や他の生命を尊重し、危険を予測しようとしたり、進んできまりを守ろうとしたりしようとする。

4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・アンケートに記入する	・自分達のありのままの行動を答えるように知らせる。	・アンケートを記入し、これまでの自分の行動について考えることができている。（思考・判断・表現）

5. 本時のねらい

日常生活や遊びのイラストから危険を予測する活動を通して、歯や口のけがを未然に防ぐ方法に気づき、自分たちの生活、行動を見直し、自分たちの体やきまりを守ろうとすることができる。

6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1 (学級担任)	T2 (養護教諭)		
導入 つかむ	1. アンケート結果の発表	・アンケート結果から、学級全体の結果、課題としてだけでなく、自分の課題としてとらえることができるようにする。		アンケート結果	
展開 さぐ る 見 つ け る	2. 遊びや日常生活のイラストから歯や口のけがにつながりそうな行動を見つけ、けがを防ぐ方法を考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">はと口のけがをふせぐほうほうを考えよう。</div> ・遊びの中でけがをしたことがある児童や好きな遊び等、アンケート結果から意図的に指名する。		イラスト	日常生活や遊びのイラストから危険を予測したり、歯や口のけがを未然に防ぐ方法を考えている。(思考・判断・表現)
週末 決 め る	3. 歯科衛生士から歯や口のけがについて教えてもらう。 4. 自分のめあてやクラスで気をつけることを決める。	・自分の課題に合っためあてを学習カードに記入する。	歯や口のけがの種類を紹介し、歯の重要性を伝える。		歯や口のけがの種類、歯の重要性を理解している。 (知識・技能)

7. 事後の指導

教科との関連・・・道徳 節度・節制「るっぺ どうしたの」

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none">・自分の立てためあてについて振り返る。・仲間同士で行動の様子を確認し合う。・道徳の時間にも似た内容を学習する。	<ul style="list-style-type: none">・帰りの会などを利用して、仲間同士で取り組みを確認し合う場を設け、お互いのがんばりを励まし合うことにより、実践の継続を図るようにする。・道徳の価値項目「節度、節制」の内容と関連付けながら、繰り返し安全に対する意識やきまりを守ることにに対する意識を高めるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・自分の立てためあてや仲間同士で呼びかけ合うことに進んで取り組んでいる。(思考・判断・表現) [学習カード・観察]